

このコーナーでは、「私の好きな白河の景観50選」にご応募いただいたもののなかから、今回は2か所を皆さんにご紹介しています。



ひじり 聖ヶ岩と周辺の自然

那須連峰のふもとに広がり、源義経が奥州に向かう途中に名付けたとされる聖ヶ岩は、山桜やツツジ、松、モミジなどに彩られ、四季折々に美しい景観を楽しませてくれます。また、羽鳥湖を水源とする聖ヶ岩周辺の清らかで、時に力強い隈戸川の流れは、自然の雄大さを感じさせてくれます。

「聖ヶ岩ふるさとの森」から下流にある大信不動滝は、その荘厳さに身が引き締められ、同時にとても癒されるぜびともご覧になっていただきたい景観をつくり出しています。



境の明神と周辺の自然

国道294号（旧奥州街道）に面して福島県と栃木県との境にあり、創立は平安時代初めの延暦8年（789年）と伝えられています。国境の神、和歌の神として知られている玉津島明神を祀っており、下野（栃木県那須町）側の住吉明神と並び建っています。松尾芭蕉もこの地を訪れたといわれ、境内には芭蕉以外にも様々な句碑が残されています。

道路から見ただけではわからない厳かな境内の趣を、ぜひご覧になってください。

☎本庁舎都市計画課 ☎21111 内2288

ふるさとの 風景を描こう

～いつだって心に残る風景がある～



大工町・手代町・袋町景観まちづくり協議会が先進地を視察しました

平成22年12月15日に、「大工町・手代町・袋町景観まちづくり協議会」で、都市計画道路事業に伴う景観まちづくりを進めている三春町、二本松市への視察研修を行いました。今後、協議会では良好な景観をつくり育てていくために、まちづくりの方向性を話し合い、景観協定の締結を目指していきます。

●編集・発行 白河市市長公室秘書広報課
961・8602 福島県白河市八幡小路7-1 ☎0241-11111

「コンセントをこまめに抜こう」
白河市はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。
チャレンジ 25

「広報白河」は再生紙を使用しています。